



2025-2026年度

UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

第3074回 例会
2025. 9. 4

会長あいさつ



2025-2026年度 坂本 忠光会長

週 報 No.2299

発 行 2025年 9月 11日

2025-2026年度

会 長 坂本 忠光

幹 事 大木 崇寛

副会長 齋藤 哲雄

副幹事 奥川 淳一

編集責任者・公共イメージ向上委員会

委員長 寺脇 貴浩

ゲスト

上尾市教育委員会

学校教育部指導課・上尾市教育センター

副主幹 兼 指導主事 玉造勇輝様

特定非営利活動法人

サンワエナジークラブ

理事 沼田真伍様

2024 学年度

ロータリー米山記念奨学生

オウ ギョウユ

王 曉瑜さん

行事予定

9月18日 社会奉仕事業

「ルームここから」

家電製品寄贈式等

9月25日 部門セミナー報告

米山・国際・社会奉仕

(時間変更)

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。

前回の例会からの報告をいたします。8月30日に社会奉仕部門セミナーが開催され、須田社会奉仕委員長と2人で出席してきました。

また9月3日は公益社団法人埼玉中央青年会議所の創立30周年記念式典に、上尾ロータリークラブ会長として出席してきました。

さて「ロータリーの目的」についてお話いたします。「ロータリーの目的（綱領）」は、国際ロータリーの基本理念を簡潔にまとめたものです。1906年にシカゴクラブの定款が初めて制定され、「ロータリーの目的（綱領）」を兼ねた、わずか2か条の定款が始まりだそうです。その後、1910年に5項目からなる「目的（綱領）」が制定されました。1912年には、アメリカ以外の国にもロータリークラブが拡大されて国際ロータリークラブ連合会という名称になり、「国際ロータリークラブ連合会の目的（綱領）」と「ロータリークラブの目的（綱領）」の2つの目的になりました。数度の改定がされた後、1919年に2つある目的（綱領）が統合されました。そして1921年に初めてアメリカ以外の国で国際大会が開催されたことを記念して「ロータリーの目的（綱領）」に国際奉仕に関する条文が加えられたそうです。その後も何度か改定された後、1935年に四大奉仕に対応した項目に整理され、1951年に今の「ロータリーの目的（綱領）」になったそうです。ただこれは英文の話であって、日本文和訳は1921年、日本初の東京ロータリークラブで当時は英文の「目的（綱領）」となっていて、1926年の第1回全日本ロータリークラブ連合懇談会で、日本文和訳について議論されたそうです。この時の和訳は、現在とは少し異なっていました。例えば、奨励という言葉は、鼓舞と言っていた時期があったそうです。そして1936年に「目的（綱領）」をわかりやすい和訳に変えようという運動が起こりました。先週もお話しさせていただきましたように、1957年に手島知健さん、宮脇さん（お二方ともR I 理事）がご尽力されて今の「目的（綱領）」ができました。その後、「綱領」が「目的」になるなど改定され、2012年に和訳だけが少し変更され、先ほど皆さんが唱和した「ロータリーの目的」になりました。ちなみに英文は、1951年以来1度も改定変更がされていないそうです。本日もよろしくお願いいたします。

幹 事 報 告

大木 崇寛 幹事

◇今月のロータリーレートは1ドル=147円です。
◇尾身茂先生の講演会が10月1日に開催されます。皆さん振ってご参加いただければと思います。

◇地区大会記念ポリオ根絶チャリティゴルフ大会の組み合わせ表が発表になりました。参加表明いただいているのは、門崎会員、関口（良）会員、荒井会員、木田会員、奥川会員、宇多村会員、寺脇会員、齋藤（哲）会員、久保田会員、細野会員、齋藤（博）会員と、私大木の12名となっています。ありがとうございます。

◇埼玉県「目の愛護デー」が10月5日（日）13時より、さいたまスーパーアリーナで開催されます。

◇地区大会のご案内をお配りしました。11月15日（土）、16日（日）に開催されます。多くの皆さんのご参加をお願いします。

◇10月2日の例会は「献血活動」を行います。



委員長報告

米山記念奨学委員会 長沼 大策 委員長

本日、私長沼が10万円を寄付させていただきました。まだまだ目標額に届きませんので、ぜひ米山記念奨学会に寄付をよろしくお願いいたします。



ロータリー米山記念奨学金授与

ロータリー米山記念奨学生 王曉瑜(オウ・ギョウユ)さん



いつも奨学金をいただきありがとうございます。今、大学院に進学するための研究計画書を準備していて、結果は分かりませんが、最善を尽くします。

例 会 主 題

【学校教育の「今」と「昔」】
子供たちの「やりたい!」を叶える教育の実現へ。新しいブカツ「AGEO地域クラブ」

上尾市教育委員会 学校教育部指導課 副主幹 玉造勇輝様

皆さんこんにちは。本日は貴重な例会のお時間をいただき、学校教育の今と昔、特に今大きく変わろうとしている部活動についてお話させていただきます。最初に、学校教育の今と昔ということで、学校教育は非常に変わっている部分を簡単に紹介します。授業スタイルでは昔は教科書中心でしたが今はGIGAスクール構想に従って小中学生1人に1台のパソコンが配られています。教育内容では今は「答えは1つではない」と教えています。子供の呼び方では男女問わず「〇〇さん」と呼ぶと取り組んでいる学校がたくさんあります。人間関係では中学生にもSNSが広がってコミュニティツールとして活用していただく分では非常にいいのですが、少しネットいじめがおきているようです。GIGAスクール構想に伴いパソコンが配られたので、オンラインツールが出来上がり、子供たちは授業の中で海外と交流をすることもできるようになりました。それから上尾市における授業の一環で、ALTという英語の授業を手伝ってくれるネイティブの先生がいます。英語の授業は全国的に小学3年生から、上尾市では小学1年生から行っていて、小学校低学年からゲーム形式などでコミュニケーションすることを重視しています。また水泳の授業では学校の施設を利用せず、民間水泳スクールで行っています。学校の施設は老朽化していてどうするか議論をしているのですが、特にプールは劣化が激しくて、授業が難しくなっているうえ、今年も酷暑でしたが、暑さゆえに水泳の授業を屋外で行うことが難しくなっていて、授業の時に市内やまた近くにあるスイミングスクールに出かけて、民間水泳スクールのインストラクターさんに教えていただくというような取り組みを行っている学校もあります。

こうした今と昔の学校教育の違いについて紹介しましたが、実は今、大きな変化を迎えているのが部活動です。部活動というと、主に中学校という話に



なりますが、今、国のほうで中学校における部活動の代わりに、地域の指導者が活動を行う【地域クラブ活動】に移行・展開して欲しいという事業が進められています。国のスポーツ庁が作ったプロモーション動画をご覧ください。＜動画視聴＞

今ご紹介させていただいた事業の名称が部活動の地域移行と呼ばれるという事業になります。実はこの地域移行という言葉が来年度以降「地域展開」という言葉に変わっていくことがスポーツ庁から発表されています。部活動の地域移行というのは、今まで学校教育の中で行われていた学校部活動をやめて、代わりに子どもたちが地域で活動する機会を作っていきますという、スポーツ庁、文化庁が主導権を持って全国的に進められているプロジェクトです。なぜこのような部活動の地域移行事業が必要かですが、理由は大きく2点あります。まず1点目が、少子化です。子どもたちが減ってしまうと、中学校の部活動が成り立たなくなってしまう。それからもう1点が教員、指導者の立場でいろいろな教育課題が増加してきて、教員の時間外在校等時間、いわゆる残業時間がだいたい増えてきてしまっていて、学校における働き方改革が急務だということです。部活動とは、実は先生の専門をそのまま子どもたちに教えることができるとは限らない面もあります。上尾市でも同様の問題が起きています。子どもたちの数は非常に減ってきています。先ほど部活動の設置数のお話をさせていただきましたが、市内で一番大きな学校が大石中学校で、一番小さい学校が大石南中学校になります。隣同士の中学校です。設置している部活動の種目数の差は11です。大石中には大石南中学校よりも11個も部活動の種類があるという形になっています。ほかにもサッカー部がない学校が市内に3校、また野球部も最近減っていて、全校に設置はありません。教員も部活動の指導についてやや負担を感じている先生が多くなってきている実情があります。こうした現状を捉えて、上尾市でも子どもたちがしっかりと自分のやりたいことに挑戦できる環境を整えようということで、昨年度、「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」を定めさせていただきました。プランとしては、令和6年度～7年度までの2年間に、新たな地域クラブ活動としての組織、名称をAGEO地域クラブとさせていただきますが、まずは休日の学校活動をやめて、その代わりに新たな地域クラブ活動をつく

るという作業を今行っています。休日の学校部活動をなくするのが来年8月になります。ですので、今はまだ休日の部活動をやっていますが、休日の学校の部活動がなくなってから準備を始めたのでは遅いということで準備を進めているところです。それで、昨年度、子どもたちのやりたいを実現するために、新たな組織ということでAGEO地域クラブの運営体制を確立し始めました。昨年度はまず7種目、スポーツに係る種目を取り上げ、地域の方で指導者を探して指導いただくというような取り組みを進めさせていただいております。

AGEO地域クラブという全体組織を運営するに至っては、上尾市教育委員会で直接運営するのではなく、スポーツクラブの運営を民間事業者に委託しようという取り組みになっています。AGEO地域クラブの運営を行っていた方がいいのが、サンワエナジークラブです。サンワエナジークラブには7種目の管理運営ということで、それぞれ専門の先生や指導者を引き指導いただいているのですが、保護者との連絡等もクラブのスタッフさんにやっていただいています。バレーボールでは埼玉上尾メディックスの選手やコーチにご指導いただき、子どもたちに豊かなスポーツの経験をすることができるとなっています。

当初、学校部活動がまだ残っている中で、地域クラブの組織づくりのため早くから事業を動かしていて、地域クラブにはなかなか子どもたちが集まらないかと心配していましたが、昨年度の取組、第1クールと第2クールに実施をしたと、それぞれ350名前後の子どもたちを集めて活動を行うことになりました。想定を超えるたくさんの子どもたちが集まったな思っています。子どもたちにアンケートを取ったところ、「参加してよかった」と好意的に答えてくれた生徒さんが97パーセントいました。その理由は「専門的なことを習うことができた」「部活動もいけれど、なかなか自分が学びたいことを教えてくれる先生に出えなかった。でもここに来て、自分が本当に見えてもらいたいことを教えてもらえる」という意見がありました。また「自分が通う学校以外の人も交流をしながら活動ができるので、それもいいよね」という回答がたくさんありました。保護者さんからもご好評をいただいています。こうした取組を受け、今年度は、種目を一気に増やして20種目の活動を行っています。

地域クラブの事業は子どもたちの「やりたい」を叶えるというように大きな趣旨としてあります。もともと子どもたちにアンケートを取ったとき、「自分の学校に入りたい種目の部活動はありますか?」と訊くと、10人に1人～2人が「入りたい種目はない」という回答があったので、やはり子どもたちが本当にやりたいことに挑戦できる場を作りたいというのが、上尾市教育委員会の思いです。キーワードとすると「多様目」「多志向」「インクルーシブ」というような形で、自分の本当にやりたいものが得られる種目、また自分の趣味・関心にあった種目、また特別支援学級の生徒さんも通うことができるクラブを作りたいということです。このような地域クラブを作りました。簡単に動画でまとめさせていただいておりますので、ご覧いただければと思います。＜動画視聴＞

我々の取組について、短い時間ではご紹介に至っていないところもあるかもしれませんが、ご理解をいただければ幸いです。今、20種目の参加者が820名となっています。まだ部活動をやっているところも踏まえたと、この参加人数は非常に多くなってきているな、だいたいAGEO地域クラブの趣旨、理念が広がって、子どもたちのニーズに応えられるようになっていくなと実感しています。ただし多くの課題を抱えているのもまた事実です。一番大きな問題は運営費です。これまで学校教育の中で行われてきた部活動は、基本的には無償で行われていたものでした。ですが学校教育から外出しをするので、今度は学校教育ではなく社会教育という位置づけになります。そうすると、例えば学校教育の中で利用できる保険も地域クラブ活動では使えなくて、新たな保険に加入する必要があります。また

子どもたちのニーズに応えるために、良い指導者を見つけてきて継続的に指導いただくということが、取組として大事になると思っています。我々は今、指導者の皆さんに少額ですが謝金を払っています。さらに、学校にある道具などを今は使わせていただいているのですが、なかなか全てを網羅することができないので、多くのお金を必要としているという問題があります。今年度は、スポーツ庁と文化庁から委託事業費ということでお金をいただいておりますが、今後、自分たちで運営費を確保していくとなったときに、子どもたちからも参加費をいただいて運営をしていくという考えが基本になりますが、参加費が高騰すると、経済格差で参加できない子どもが出てくる恐れがあります。格差を何とか抑えたいということで、行政的支援の検討、また、あるいはサンワエナジークラブさんを通して、企業さんにご協賛をいただいて、運営費や物品のご協力をいただく取り組みを進めさせていただいています。今後、企業パートナーシップ制度を試験運用させていただき、なんとか上尾市の子どもたちが、本当に自分たちがやりたいことができるシステムを作っていきたいと思っていますので、ぜひ上尾市教育委員会の取組にご理解をいただき、今後ともぜひご支援をいただければと思います。本日は誠にありがとうございました。



玉造様、卓話いただきありがとうございました!!

樋口会員 米山学友の鄭維嘉（ていゆいか）さんに、9月3日のお誕生日祝いのLINEをしたところ、職場が最近異動になって神奈川県にお住まいとのことでした。

坂本会長／大木崇寛幹事／齋藤哲雄副会長／奥川副幹事／大塚信郎会員／小林会員／村岡会員／尾花会員／大木保司会員／細野会員／大塚崇行会員／島村会員／齋藤博重会員／深澤会員／宇多村会員／長沼会員／門崎会員／山崎会員／寺脇会員／木田会員／原田会員

出席率
会員数 33
出席免除 0
出席対象者 33
出席者数 22

66.67%

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30

事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303

例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

